

HG EVOLUTION

高濃度水素発生カプセル

腸管内で多くの水素を発生する水素カプセルの誕生！



1日 3カプセルで、
24時間体内で持続的に効率的に
水素が発生します。

大学研究機関にて開発されたシリコンナノ粒子はアルカリ性の腸管内で水と反応し多くの水素が発生することがわかっています。
その発生量はわずか1gで飽和水素水44L以上(水素ガス換算800ml)に匹敵します。

HG EVO の 1カプセルあたりのシリコンナノ粒子含有量は300mg以上なので1日 3カプセルの飲用で、24時間体内で持続的に水素が発生します。

【名称の由来】HG → Hydrogen Gas(水素ガス) EVOLUTION → 発生・革命

腸管内で発生した水素は活性酸素と反応しやすい状態で体内に取り込まれるため、がんや老化の原因物質である「ヒドロキシルラジカル(悪玉活性酸素)」を効率的かつ持続的に消去することができるのです。

水素は脳内への移行も証明されており日々の疲労回復や脳の変性疾患の予防などにもお役立てください。

●60カプセル入り ¥10,500(税込) ●90カプセル入り ¥15,000(税込) の2種類がございます。

内容量:24.6g/410mg×60粒

内容量:24.6g/410mg×90粒

【原材料名】

シリコン製剤(国内加工)、デキストリン/HPMC、ステアリン酸Ca、微粒二酸化ケイ素

◇水素とは？健康や美容への効果は？

水素は酸素と結びつくことで水になる元素で、大気中など身の回りに存在しています。水の素となる重要な物質である水素ですが、水素は美容・健康によいことでおなじみのビタミンCやポリフェノールの数百倍に相当するパワーをもっているといわれており、健康面や美容面においても重要だと注目をされています。

◇効率的な水素の摂取方法とは？

水素を対外から摂取するには「水に溶かして飲む」「水を電気分解して水素ガスを発生させ吸引する」「体内で水素を発生させ吸収させる」方法が挙げられますが、この中で「水に溶かす方法」はいわゆる水素水を摂取する方法ですが、水に溶存できる水素の量は限定的です。水素は分子量が小さいため抜けやすい特徴があり、十分な水素の量を水として飲むことには限界があります。次に「水を電気分解して水素ガスを発生させる方法」の場合は水素発生器があることが前提となりますので、コストや移動などの問題で活用するのが難しい方法です。このような問題点を内容を踏まえると「体内で水素を発生させる方法」が効果や安全性、コスト的にも一番効率よく水素を摂取できます。

◇安全かつ効率的に水素を摂取するには？

HG EVOLUTIONは、経口摂取することで腸内の水分と反応して24時間以上継続して水素を発生させることができます。水素発生剤は、水と反応して発生する水素だけが吸収され、水素発生剤自体は吸収されないの、非常に安全性の高い成分です。

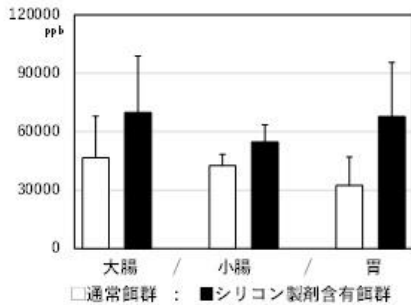
(発生する水素は、水素発生剤1gに対して水素ガス換算で800ml以上に匹敵します。)

シリコンナノ粒子の特徴

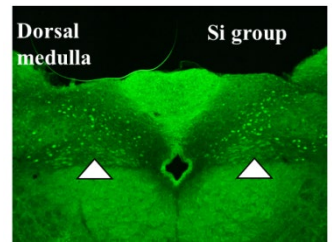
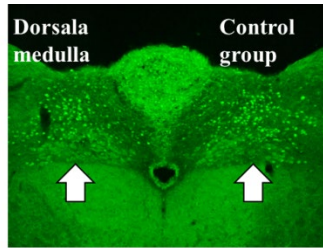
シリコン製剤は水と反応して水素を発生しますが、アルカリ性環境で水素発生量と発生速度が顕著に増加するという性質を持っています。したがって、シリコン製剤を摂取すれば、**酸性環境の胃では水素が発生しません**が、**弱アルカリ性の膵液が分泌される腸内で水と反応して、水素が発生します**。

	シリコン製剤 (HG-EVOLUTION)	一般の水素水
水素量	1gから～800mL以上発生 (飽和水素水44L、通常の水素水400L以上に相当)	飽和水素水1L中に気体換算で 18mL
体内水素の存在時間	24時間以上	1時間程度
体内での水素の状態	水素原子(?)	水素分子
空気中での安定性	安定 (数年放置しても水素発生能の変化なし)	空気中の放置によって、 水素濃度が著しく低減

シリコン製剤は腸管内、特に大腸で多くの水素を発生していた



脳の延髄背側部の孤束核や迷走神経背側核及び扁桃体中心核の神経細胞の活性化
通常餌群



出典)大阪大学 産業科学研究所シリコン製剤創製・物性学寄附研究部

本水素サプリは、大阪大学にて研究開発された物で、腸管内で8時間連続して水素を発生する仕組みになっています。其処で、飲用方法として、下記の3種類を推奨させていただいております。

1. 就寝前、朝食前(8時間後)、昼食と夕食の食間(8時間後)の1日、3回の服用(90カプセルタイプで約1ヶ月)
(がん等の重篤疾患に罹患されたり、基礎疾患があり発症リスクの高い方の補完療法として)
2. 就寝前、朝食前、昼食前、夕食前の4回服用(上記の8時間毎の飲用が困難だと思われる方)
3. 就寝前、就寝から12時間後(概ね、朝食と夕食の食間)の2回の服用(60カプセルタイプで約1ヶ月)
(既往歴も無く、健康維持の為に飲用を検討される方)

いずれの場合も、就寝前の服用を基準に間隔をあけて飲用下さい。(就寝中の腸管内での水素発生による効果が高い)
※闘病中やリハビリ中の方の補助療法として、高濃度酸素ミスト吸引との併用効果が高い事も報告されています。

【監修医】

医師・医学博士 萬 憲彰 (ヨロズ ケンショウ)



医療法人社団医新会理事長、よろず内科消化器内科クリニック院長、先進統合医療部門登録医(癌免疫療法)、日本先制臨床医学会理事、統合腫瘍治療研究部会部会長、国際水素医学科学研究会副理事長、日本老化制御医学会理事、日本プロテオ検査研究会代表理事、日本抗腫瘍ハーブ研究会代表理事、腸内フローラ移植臨床研究会理事

- ・日本内科学会・日本消化器病学会・日本内視鏡学会
- ・エピジェネティック療法研究会・日本統合医療学会
- ・日本フェロトーシス臨床研究会・遺伝子治療研究会
- ・JCMC日本複合医療臨床研究会

国境と医師の垣根を越えた医療の架け橋

Well Being GINZA

